

「英和辞典」を使った「アクティブ・ラーニング」

高瀬 博

1. 問題定義

教員が学生に一方的に知識を教授する講義型ではなく、学習者が主体的に問題を発見し、答えを見だしていく能動的な学習方法を「アクティブ・ラーニング」と言います。

従来のような「知識伝達中心の授業では、主体的に考える力をもった人材は育成できない」という考えに基づき、最近盛んに取り入れられてきた教授法の1つです。

それでは、具体的には、どのような「アクティブ・ラーニング」が効果的だろうか。「英和辞典」を使った活動を例に挙げながら、考えていくことにしましょう。

2. 単語レベルの例題(生物編)

自然は「動物界」「植物界」「鉱物界」と大きく3つに分類できる。さらに分類していくと、動物界の最大の区分は「門(phylum)」、植物界の最大の区分は「門(division)」である。さらに細分化するとどうなるか、英語で答えなさい。

大  小				
綱	目	科	属	種

上記のような問題が与えられたとき、もしインターネットに接続できる環境になれば、みなさんはどうやって解答を導き出しますか。「綱」、「目」、「科」、「属」、「種」と1語1語「英和辞典」で調べていきますか。それも一案かもしれませんが、かなりの時間がかかる上、正解が得られる保証もありません。そこで、問題文をよく読み何度も使われている語は何か、それを英語で表現するとどういう綴りになるかを生徒に考えさせるのです。そして、生徒たちに「分類」とか「細分化」という語が多く使わ

れていることに気づかせるのです。そうすれば、簡単に正解が得られるのです。たとえば『ウィズダム英和辞典第3版』(三省堂)でclassification「分類」を調べると[p.345]、「綱」=class, 「目」=order, 「科」=family, 「属」=genus, 「種」=species だとわかります。

3. 単語レベルの例題(数学編)

次の語を英語で表現しなさい。

- 直線()
- 曲線()
- 斜線()
- 点線()
- 波線()

この種の問題も、共通語である「線(line)」を調べることに気づかせることがポイントです。お持ちであれば、『ジーニアス英和辞典第5版』(大修館)のp.1238を確認してみましょう。答えは、1. straight line, 2. curved[crooked] line, 3. oblique line, 4. dotted line, 5. wavy[wiggly] lineとなります。

4. 単語レベルの例題(家庭科編)

① 次の動物の肉を英語で表現しなさい。

- 牛()
- 豚()
- 羊()
- 子羊()
- 鶏()

② 空所を埋めなさい。

日本語では、牛や豚の柔らかい上等の腰肉を(), 牛の腰上部分の肉を()と呼ぶ。英語では、それぞれ()と()である。

たとえば『ユニコン英和辞典』(文英堂)では、①の問題は「肉」に関係があるから「meat」を調べると、すぐに正解が得られます[p.960]。答えは、1. beef, 2. pork, 3. mutton, 4. lamb, 5. chickenとなります。②は「beef(牛肉)」を調べただけでは解答

は得られません[p.141]. beef の項目に図解してある部位別の英語の名称を, さらに1語1語自ら調べることで正解が得られるしくみになっています.

5. 単語レベルの例題(科学編)

次の語を英語で表現しなさい.

1. 北極() 2. 南極()
3. 北半球() 4. 南半球()
5. 北回帰線() 6. 南回帰線()
7. 経線() 8. 緯線()
9. 赤道()

この問題の共通点は, 「地球(earth)」に関係が深いということです. そのことに気づけば, 答えは簡単に導き出せますね. お持ちであれば, 『ジーニアス英和辞典第5版』(大修館)のp.666を確認してみましょう. 地球の図が掲載してあり, 上記の答えがひと目でわかります. ちなみに答えは, 1. North Pole, 2. South Pole, 3. Northern Hemisphere, 4. Southern Hemisphere, 5. Tropic of Cancer, 6. Tropic of Capricorn, 7. line of longitude, 8. line of latitude, 9. equator となります.

6. 単語・熟語レベルの例題

ほぼ同じ意味になるように()を埋めよ.

1. 予算はぎりぎりまで切り詰められた.
The budget was cut to the ().(立命館大)
2. 私たちのことに口をはさまないでください.
Don't poke your () into our affairs.
(立命館大)
3. きみには関係ないことです.
Stop poking your () into my affairs.
(立命館大)
4. あの子の年齢を当てようとして, へまをしたしまった.
When I guessed her age, I put my () into my ().(立命館大)
5. 彼は私と好み似ている.
He is a man after my own ().(立命館大 改)
6. 地震が起きたら, 沈着な態度を失わないことが肝心だ.
When an earthquake occurs, the important thing is not to lose your ().(駒沢大)
7. うちの社長はいつも冷静だ. 決して感情に走らない.
Our boss keeps his () all the time; he never gives in to emotions.
(四天王寺国際仏教大)
8. 目に異物が入ってます.
I see a foreign () in your eye.
9. このワインは非常にこくがある.
This wine has plenty of ().
10. 間接的に聞いた話には注意しなさい.
Be cautious of stories that you hear at second ().(西南学院大 改)
11. 危機に直面して, 彼は勇気を出した.
He became brave in the () of danger.
(西南学院大 改)
12. 彼は向きを変えると, ゆっくりと歩き去った.
He turned on his () and walked quickly away.(西南学院大 改)
13. 夕食を食べなさい. おいしいし, きみに軽べつされる筋合いはない.
Eat your dinner. It's good food and there is no reason for you to turn up your () at it.(西南学院大 改)
14. あおむけになると, 空が見える.
If you lie on your (), you can look up at the sky.(西南学院大 改)
15. 彼女はつま先立って背伸びをしていた.
She was stretching on her ().
(西南学院大)

16. そんなことを言っ、彼女をからかうんじゃないよ。彼女は本気にするよ。
Don't pull her () by telling her that.
She will take it seriously. (西南学院大 改)

17. この問題はたいへん難しいので、それを解決するために相談し合わなければならないでしょう。
This problem is so difficult that we will have to put our () together to solve it.
(西南学院大 改)

18. 彼女は楽譜をまったく読めないが、楽譜なしで曲を演奏することができる。
She can't read music at all, but she plays the songs by (). (西南学院大 改)

19. 私たちは別の問題に直面した。
We () another problem. (西南学院大 改)

20. 「私の話を聴いてください。」
「しっかり聴いていますよ。」
“Listen to me.”
“OK, I'm all ().” (西南学院大 改)

21. 自立しなければ、彼女は自信を失うだろう。
If she doesn't stand on her own (), she'll lose her self-respect. (西南学院大 改)

22. イヌが吠え出すのを聞いて、泥棒は一目散に逃げた。
When the thief heard a dog begin to bark, he took to his (). (西南学院大 改)

23. 一生懸命に努力してきたすべてを失ったとき、ジムはひどく悲しんだ。
When Jim lost everything he had worked so hard for, it broke his (). (西南学院大 改)

24. He ate until he was completely satisfied.
He ate to his () content. (西南学院大)

ヒントを生徒に与えます。その後、「英和辞典」で「体(body)」を調べさせると、次の単語が記載されている場合があります。

back, bone, ear, eye, face, foot, hand, head, heart, heel, leg, mouth, nose, toe, shoulder

「体(body)」に関係する主な単語です。これらの単語であれば、わざわざ辞書を引かなくても、すでに知っている生徒も多いのではないのでしょうか。さらに、その1つ1つを「英和辞典」で調べることで、それぞれの熟語を見つけることができ、生徒は「自ら問題を解決する力」を身につけることができます。

【解答】

1. to the bone 徹底的に
- 2, 3. poke one's nose into ~ ~に干渉する
4. put one's foot in (to) one's mouth
どじを踏む
5. after one's own heart 好みが同じの
6. lose one's head 落ち着きを失う
7. keep one's head 落ち着いている
8. foreign body 異物
9. body こく
10. at second hand 間接的に、また聞きで
11. in the face of ~ ~に直面して
12. turn on one's heel くるりと向きを変える
13. turn up one's nose at ~ ~を軽べつする
14. lie on one's back あおむけに寝転ぶ
15. on one's toes つま先立ちで
16. pull one's leg 人をからかう
17. put one's heads together
額を集めて相談する
18. by ear 楽譜なしで
19. faced ~に直面した
20. be all ears 一心に耳を傾けて聞く
21. stand on one's own feet 自立する
22. take to one's heels 一目散に逃げ出す
23. break one's heart 人をひどく悲しませる
24. to one's heart's content 思う存分に

7. 文レベルの例題(文法編)

()に hope, wish, wonder のいずれかを入れな

まず、問題を解かせる前に、「1番から24番まで全て、「体(の一部)」を使った熟語である」という

さい。

1. この赤ちゃん、抱いてもいいかしら。
I () if I could hold this baby?
2. 犯人はどこに逃げたのかしら。
I () where the criminal ran away to.
3. 今日はだれが投げるのかしら。(野球で)
I () who will pitch today.
4. 今日はどうやって暇をつぶそうかな。
I () how I can kill time today.
5. こんな物、買わなきゃよかった。
I () I had not bought this kind of things.
6. 透明人間になりたいな。
I () I were a transparent man.
7. たまには私の言い分も認めてよ。
I () you would accept what I say once in a while.
8. 気分転換にどこか遠くへ行きたいな。
I () I could go somewhere far away from here for a change.
9. きれいな海だなあ。水着を持ってくればよかったなあ。
Doesn't the ocean look beautiful! I () I had brought a bathing suit.
10. 冷たい生ビールが1杯ほしいなあ。
I () I had a mug of cold draft beer.
11. 早くいい人が見つかるといいね。
I () you find a good partner soon.
12. 愛する人と結ばれるといいね。
I () you marry someone you love.
13. 人の気持ちがわかる立派な人間になれよ。
I () you grow up to be a considerate, re-

spectable person.

14. 幸せな家庭を築いてくださいね。
I () you will make a happy home.
15. A: この扉、閉まりにくいんだけど。
B: 欠陥住宅じゃなかったらいいわね。
A: This door is hard to shut.
B: I () it is not a defective house.

「英和辞典」で hope, wish, wonder を調べると、たいていどの辞書にも hope は「実現可能な望み」、wish は「実現不可能な望み」、wonder は「実現可能かどうか疑わしい望み」を表すと説明されています。また、それとともに、後に来る時制などの語法や、それがわかる例文も記載されています。それらを理解すれば、正解は簡単に得ることができます。

【解答】

1. wonder 2. wonder 3. wonder 4. wonder
5. wish 6. wish 7. wish 8. wish 9. wish
10. wish 11. hope 12. hope 13. hope
14. hope 15. hope

8. 結論

これまでは、すぐに答えを生徒に提示し「多くの知識を詰め込んでくれる先生」が、「よい教師」の定義だったかもしれませんが、これからは、「多種多様な問題に直面したとき、自ら解決できる力を身につけてくれる先生」「考えるポイントを教えてくれる先生」が、本当によい教師と言える時代になりつつあります。

参考文献

- 井上永幸・赤野一郎 編 『ウイズダム英和辞典第3版』三省堂 2013
末永國明・山田泰司・川端一男 編 『ユニコン英和辞典』文英堂 2002
南出康世 編 『ジーニアス英和辞典第5版』大修館 2014